

魔法少女の皮を被る





ある日
変な生き物が
僕の前に現れた

な、なんだお前は

僕は君のような
人材を探してたんだ

社会に絶望し
悪感情をまき散らすだけの
最底辺の人間

素晴らしい
悪意の塊

魔法少女…？
なんで僕が

それにその
皮は…

ねえ、キミ
この皮を被って
魔法少女にならないか

これは先日、
僕が捕らえた魔法少女だね

ただ、それには
この魔法少女を着る
人材が必要なんだ

僕の邪魔ばかりを
していたからこうして皮にして
利用させてもらおうと思って

僕の配下には
魔族しかいないから
これを着たら即浄化されてしまう

そこで見つけたのが
キミというわけだ

どうだい
この皮を被って
魔法少女になってよ

それは今の社会に
爪弾きにされた僕にとって
とても魅力的な提案だった





助けて

魔法少女が僕に
助けを求めている…





これが女の子のおまんこ
皮化してるとはいえ
これはこれでいい

やだッ!
舐めないで
気持ち悪い



なにこれ

嘘...ッ

気持ち悪い



うるさい
もうお前は僕のものなんだ!!
勝手に喚くな!!

なんで
やめて



流石だ
やはり僕の目に
狂いはなかった

はっ

はっ

気持ち悪いはずなのに...ッ

いやあああああッ.....!!

この男は真正のクズ
魔法少女キラーとしては
これほどまでに最適な人間は
いないだろう



この布も邪魔だな

やだッ
もうやだあ

なんで私が
こんな目に

私はいっぱい
人を助けてきたのに



かわいい
おっぱいだ

痛ッ...

おお
すげえ伸びるw
流石皮だ

乳首を伸ばさないで
それ嫌あ!

なんで人にこんなこと
されるの



だめッ!
もうダメッ!

きん

きん

何かくるッ!

ムリッ
やだ
それ以上はッ!!!

[illegible]

いゃああああああああああ

もう何も考えられない

おいおい
お前は何をぐったりしてるんだ

なにこれ
頭がぼーとする

嘘…

次は僕のことも
気持ちよくしてくれよ

[illegible]

俺ももう我慢の
限界なんだ

お前のこの体で
皮オナをさせてくれよ

スリッ
スリッ

オ
ロ
ン

ただの皮オナだよ

セ
ク
ッ

オ
ロ
ン

キ
ン
の
心
キ
ン
の
心

ひ
ぎ
ん
し

おおッ
これが皮まんこ
すげえ気持ちいい

ス
ポ
ッ
ス
ポ
ッ

ス
ポ
ッ

私の中に
入れないで…ッ！

嫌ッ…!!
ぬいてえ

はあ

はあ





出ずぞ

ビュッ
ビュッ

ビュッ

ああああああッ!!

ふう…
きもちよかった

はぁ…
はぁ…

…ああ

こんなの酷い

どうだい
満足したかな？

満足したなら
そろそろ魔法少女に
なってよ

そうだな
そろそろ着るか

ねえ、もうやめて
おねがい

うるさいな

お前にはもう
拒否権はないんだよ

これからは
僕が君の代わりに

魔法少女に
なってやるよ

いやあ

ふう…
すげえ着心地がいいな

着古したジャージのように
体に馴染む

ふーッ

そうかいそれはよかった
ならキミにはこの触手たちを
プレゼントするよ

どう使うかは
君の自由だ

どう使うか...?
そんなもん決まってるでしょ

ぬる

おいで

触手って言ったら
こういう使い方しかないだろ

はっ

おおすい
ドクターフィッシュみたいに
群がってきた♡

はっ

はっ

きん♡

きん♡

くはま♡

触手オナニー♡

ぬる
ぬる



すごい
この触手

あふ……

まるで手足のように
思うがままに動いてくれる

それにしても
女のまんこって
こんなに気持ちいいのか



イクッ……ッ！

凄すぎる



お尻の穴も
凄い気持ちいい



イクッ……ッ！

きんこ

きんこ





ビュッ

でる……ッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

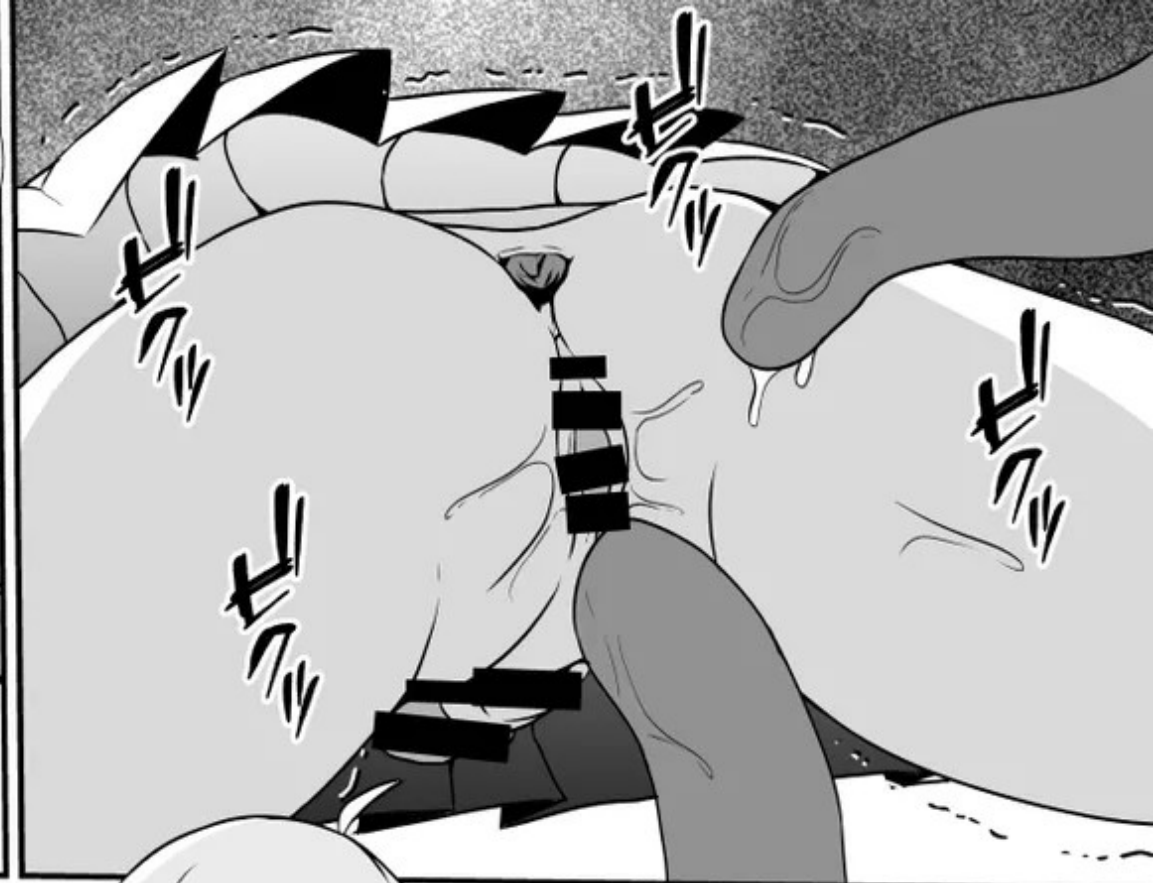
ノッ



こんなに
気持ちいい
オナニーはハジメテだ

さいこお...

はあ
はあ
はあ



ああ、任せろ
魔法少女は全て皮にして
僕のものにする

殺すも捕えて犯すも
皮にして着るのも
君の自由にしてくれていい

頼もしい限りだ



満足してくれたようで
よかったよ

それじゃあ
キミにはこれから
僕たちの活動を
邪魔する魔法少女への
対応をお願いするよ













